フレッシュコンクリート

座長:河合研至(土木),山本武志(建築)
2024年6月26日(水) 15:20 〜 17:20 第1会場 (小展示室A)

[1149]コンクリート内を伝播する加速度の推定方法に関する検討

俵積田新也[1], 梁俊[1] (1.大成建設)

キーワード：振動締固め、加速度、締固めエネルギー、振動伝播、定量評価、細骨材率

コンクリート構造物の品質を確保する上で，型枠内に打込まれたコンクリートに対して適切な締固めを実施する必要があり，締固めエネルギーを用いた定量的な締固め評価が有効だと考えられる。締固めエネルギーを用いた評価をする場合，コンクリートがバイブレータから受ける加速度を把握する必要があるが，これはバイブレータからの距離により減衰し，また減衰の程度は配合により異なることが考えられる。本稿では，配合およびバイブレータの条件から，コンクリート内を伝播する加速度を推定する手法を検討した。その結果，バイブレータの径および目標スランプから推定できる可能性が示唆された。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会